

議事（3）先進地（神戸市東遊園地）視察報告について



先進地視察の概要

- 視察日 2023年9月28日（木）
- 視察場所 神戸市東遊園地
- 視察目的 令和5年4月にリニューアルオープンした神戸市（東遊園地）を視察し、高松市中央公園再整備基本設計の参考にすること
- 視察参加者 15名（中央公園再整備検討委員会委員 高松市職員ほか）
- 視察内容
 - 1 概要説明
 - 2 東遊園地現地視察
 - 3 意見交換会

概要説明



東遊園地現地視察



意見交換会



東遊園地の概要

所在地	神戸市中央区加納町6丁目		
公園種別	地区公園	面積	約2.7ha
開設年	1875（明治8年）「内外公園地」として開設		

神戸三宮阪急ビル



サンキタ通り



JR三ノ宮新駅ビル



三宮クロススクエア



雲井通5丁目地区
(新バスターミナル1期)



市役所本庁舎2号館



※事業者選定時（令和4年8月）

中央区役所・
中央区文化センター

税関線再整備



新港突堤西地区再開発



東遊園地再整備



東遊園地再整備のプロセス

【ヒアリング内容】

- ・ 段階的に賑わい創出事業、芝生化の社会実験を行い、計画策定の基礎とした。
- ・ 市民アンケートや委員会等で意見収集を行いながら、基本設計を取りまとめた。

年度	取り組み概要	社会実験等	学識者や地域団体の意見反映	
平成27年度(2015)	○社会実験等のスタート	賑わい創出事業 (社会実験)		
平成28年度(2016)	○基本構想(案)の策定		芝生化実験(一部)	再整備検討委員会、 市民アンケート
平成29年度(2017)	○基本計画(案)の検討		芝生化実験(全面)	
平成30年度(2018)	○基本計画の策定(6月) ○事業手法等の検討		全面芝生化の継続	
令和元年度(2019) ～令和2年度(2020)	○基本設計(案)の検討 ○にぎわい拠点施設運営事業者の公募・選定(11月)			再整備アドバイザーボード、 市民アンケート
令和2年度(2020) 上半期	○基本設計(素案)策定、パブリックコメント・再整備アドバイザーボードの実施 ○基本設計策定			
令和2年度(2020) 下半期～令和3年度	○実施設計			
令和3年度(2021) ～令和5年度(2023)	○再整備工事 着工(11月) ○2023年 4月7日 北側園地・にぎわい拠点施設リニューアルオープン ○整備費用:約19億円(予定) / 北側園地約13億円・南側園地約6億円(予定)			

■賑わい創出事業社会実験



■芝生化社会実験

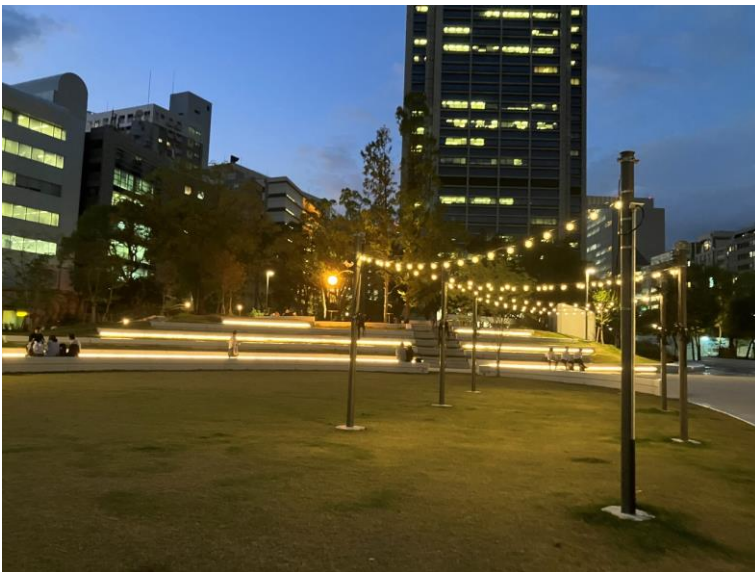


再整備計画図

- ・ 4つの広場をゾーニング



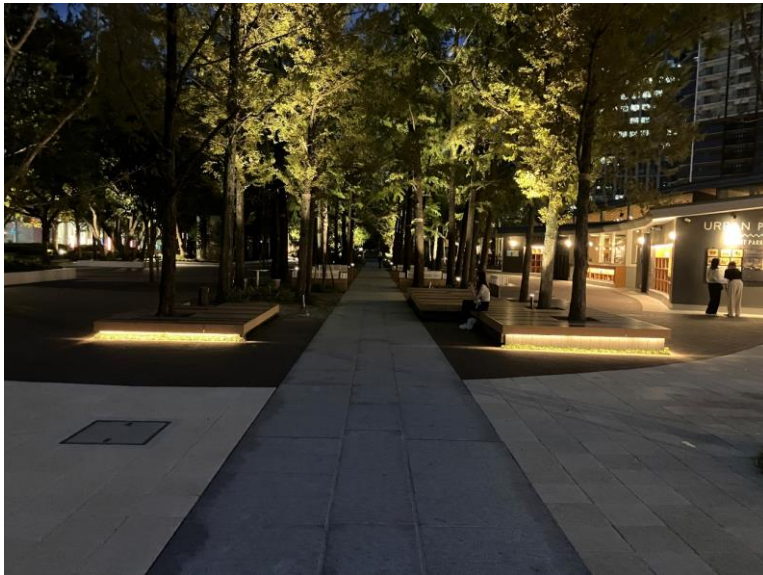
芝生ひろば



【委員意見等】

- ・どのように利用するかを考えて、芝生広場の形状・規模等を決めていくことが重要である。
- ・芝生の種類の選定方法や管理方法等は、神戸市の取組を参考にした方がよい。

みちひろば



【委員意見等】

低木を除去することで、開放感や見通しが確保するとともに、来園者の休憩スペースにしていること、また、既存樹木をいかした木陰づくりやライトアップを行うことで、魅力的な空間を創出しているところが参考になった。

見晴らしひろば



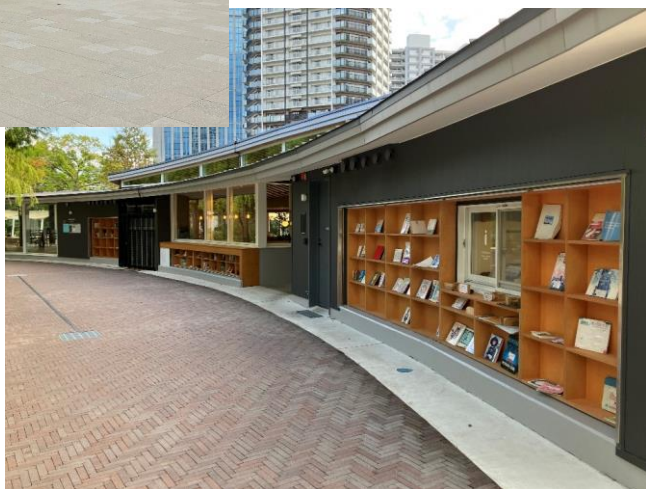
【委員意見等】

工夫次第で、地形（高低差）や物理的制約を魅力的な空間に変えることができる。

中央公園も地下駐車場の出入口付近など高低差のある場所があるので、参考にしてほしい。

賑わい拠点施設 URBAN PICNIC

- ・施設内には兵庫県産食材を活用したカフェ、レンタルスペース
- ・建物裏側はインフォメーション、本棚を設置
- ・建物の南側には、公園と一体利用できる多種多様なファニチャーを整備



【委員意見等】

公園内にお洒落なカフェが設置されると、公園全体の魅力が向上する。また、民間イベントの開催等により、新たな賑わいが創出されるため、中央公園でも、民間が入りやすい、仕組みづくりを検討した方がよい。

トイレ

- ・壁面やベンチはカラー塗装されたコンクリートブロックを使用。
- ・誰もが利用しやすいバリアフリートイレ。
- ・デザイン性を重視した、やわらかい印象。
- ・公園中央部にあり、夜間も明るいため、安全・安心なトイレ。



【委員意見等】

トイレは、まちを印象づける重要な施設であるため、特に、重点的に取り組む必要があると思う。

サイン・看板

- ・伐採された既存樹木を活用している



【委員意見等】

撤去した既存樹木は、積極的に活用してもらいたい。

モニュメント

- ・ 整備以前には約30基のモニュメントがあった
- ・ 寄贈者と製作者に連絡を取り、移設・撤去方針について調整した
- ・ 調整により、10基程度の移設を行った
- ・ 既存のモニュメントを植栽柵や法面に取り込むデザインとなっていた



【委員意見等】

中央公園も歴史的・文化的・芸術的価値の高いモニュメントがあるので、活用する方向で検討してほしい。

■ 先進地（神戸市東遊園地）視察のまとめ

○神戸市東遊園地は、立地環境や条件、規模、既存施設、整備経緯など高松市中央公園とよく似た点が多く、非常に参考になりました。

○公園リニューアル後は、子どもや家族連れなどが増え、新たな賑わいが創出されています。また、来園者が増えることで、治安も良くなり、周辺地域も含め、まち全体のイメージが向上するなど、再整備の効果を確認することができました。

○今回の先進地視察を受けて、今後、中央公園の再整備にあたっては、以下について、検討することが望ましいと考えます。

【検討事項】

- ・ 日常イベント、小規模イベント広場の確保
- ・ 公園の中へ人を誘うようなデザイン
- ・ 高木の保全・活用、低木撤去による新たな休憩空間の創出
- ・ 地形（高低差）を利用した空間づくり
- ・ お洒落なカフェ空間、休憩スペースの提供
- ・ ターゲット（子ども等）を明確にし、来街の目的となる個性と特色を持たせること
- ・ 子ども、家族連れ等が訪れたくなる仕掛けづくり
（子ども向けイベントの開催、こども図書館、水遊び場など）
- ・ 施設全体のユニバーサルデザイン化
- ・ 既存モニュメントの活用

